

『2008年4月1日～本研究承認日(2015年7月30日)の期間に川崎医科大学附属病院肝胆膵内科および同附属川崎病院内科(外来・入院)を受診した慢性肝疾患患者さん {C型肝炎、非アルコール性脂肪性肝障害(NAFLD)} へのお知らせ。』

<糖尿病を合併したC型肝炎およびNAFLDに対する耐糖能是正が肝線維化に及ぼす影響>

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2008年4月1日～2015年7月30日の期間に川崎医科大学附属病院肝胆膵内科および同附属川崎病院内科(外来・入院)を受診した慢性肝疾患 {C型肝炎、非アルコール性脂肪性肝障害(NAFLD)} 患者さんを対象に、糖尿病を合併した慢性肝疾患 {C型肝炎・非アルコール性脂肪性肝障害(NAFLD)} に対して抗糖尿病治療薬を投与し、肝線維化マーカーをモニタリングしていき、抗糖尿病治療による耐糖能是正が肝線維化に及ぼす影響について明らかにするための後方視的調査研究を実施します。

本研究は主に中国地区における多施設共同研究であり、研究代表者は川崎医科大学附属病院です。

糖尿病は慢性肝疾患における肝発癌危険因子であり、また肝硬変への肝病変進展因子であることが明らかにされています。このように慢性肝疾患治療において糖尿病あるいは耐糖能異常のコントロールが重要な役割を果たすことが認識されつつあります。しかしながら、糖尿病を合併した慢性肝疾患患者に対する糖尿病治療が、慢性肝疾患の予後、特に肝線維化を改善するの否かについては明らかにされていません。その点を明らかにすることが本研究の主な目的です。

当教室の調査実施期間は本研究承認日(2015年7月30日)から2019年12月31日までの予定です。本研究にかかわる費用は肝胆膵内科学および総合内科学2の教室費により賄われます。また、本研究の関係者の中にはブリストル・マイヤーズ、味の素製薬、公益財団法人ウイルス肝炎研究財団、ガデリウスメディカル、ボストン・サイエンティフィックジャパンより収入を得ており、またブリストルマイヤーズ、MSD、味の素製薬、第一三共、大日本住友製薬、大塚製薬、エーザイ、中外製薬の企業より奨学寄附金を得ていますが、本学の利益相反委員会に申告し、利益相反(他者から資金の提供を受けることにより、その結果の判断にひずみが生じかねない状態になることを利益相反状態と言います)は適正に管理されています。尚、上記企業は本研究とは関係のない企業です。

1. 治療介入を行わない『観察研究』として既存資料のみを用いた研究であるため、改めて人体試料を採取することはありません。
2. 試験への不参加や、参加取りやめを希望される方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

問い合わせ先：川崎医科大学附属病院 肝胆膵内科 仁科惣治、日野啓輔

電子メール：kannnai@med.kawasaki-m.ac.jp、 TEL 086-462-1111 FAX 086-464-1196